

待望の新病院建替整備工事がスタートしました！



～新病院建替整備工事のお知らせ～

国立病院機構長崎川棚医療センターは、昭和19年に川棚海軍共済病院として開設し、その後、国立療養所川棚病院、長崎神経医療センターと名称を変更した後、平成21年4月より現在の名称となり、「病む人のために病む人の望む安心・安全な医療を提供します。」の基本理念のもと、地域の皆様方に支えられながら、70年有余の歴史を重ねてまいりました。

それに伴い病棟や外来棟などの建物が老朽化となり、皆さまにはご不便をかけてまいりましたが、この度、新たに病院を建て替えることとなりましたのでお知らせいたします。

新病院は、「今後30年を見すえた日本及び地域の医療の未来を理解し、地域の皆さまに安心と安全を与える病院」のコンセプトに基づき、病棟6階建て、外来棟3階建てとなり、面積も現在の2倍となります。

病室は広くなり、個室を64室と増やし、患者さんの療養環境に配慮した設計となっております。

当院は東彼地区唯一の基幹病院として、救急ならびに広域災害時における迅速な患者対応をめざし、屋上にヘリポートを設置することといたしました。これは、より地域の皆さまに安心・安全をもたらすと考えています。

工事期間中は、入院及び外来診療を中止することなく進めてまいります。また、工事は安全を第一に取り組んでまいります。皆さまには何かとご不便をおかけすると思っておりますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

長崎川棚医療センター院長 宮下 光世

〔工事予定期間〕

①第Ⅰ期工事(病院本館6F・屋上ヘリポート・エネルギー棟)

工期：平成27年11月～平成29年2月

②第Ⅱ期工事(外来管理棟・外構他)

工期：新病棟建設後(平成29年4月以降)着工

※最終完成は平成31年3月の見込み